

平成 25 年 12 月 13 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 日 本 ア ク ア  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 中 村 文 隆  
(コード番号：1429 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 野 田 建 次  
( TEL. 045-477-1123)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 25 年 12 月 13 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであります。

(単位：百万円・%)

項 目	決算期	平成 25 年 12 月期 (予想)		平成 25 年 12 月期 第3四半期累計期間 (実績)		平成 24 年 12 月期 (実績)		
		構成比	対前期 増減率	構成比	構成比			
売 上 高		9,205	100.0	41.9	6,601	100.0	6,488	100.0
営 業 利 益		923	10.0	39.4	568	8.6	662	10.2
経 常 利 益		919	10.0	38.8	568	8.6	662	10.2
当 期 ( 四 半 期 ) 純 利 益		556	6.0	52.7	336	5.1	364	5.6
1 株 当 たり 当 期 ( 四 半 期 ) 純 利 益		111 円 97 銭		69 円 98 銭		91 円 24 銭		
1 株 当 たり 配 当 金		15 円 00 銭		—		—		

- (注) 1. 平成 24 年 12 月期 (実績) 及び平成 25 年 12 月期第 3 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり当期 (四半期) 純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。平成 25 年 12 月期 (予想) の 1 株当たり当期純利益は公募予定株式数 (1,570,000 株) を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分 (最大 235,500 株) は考慮しておりません。
2. 平成 25 年 7 月 1 日付で、株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っておりますが、平成 24 年 12 月期 (実績) 及び平成 25 年 12 月期第 3 四半期累計期間 (実績) の 1 株当たり当期 (四半期) 純利益は、平成 24 年 12 月期の期初に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年12月13日

上場会社名 株式会社日本アクア 上場取引所 東  
 コード番号 1429 URL http://www.n-aqua.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 文隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 野田 建次 (TEL) 045(477)1123  
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の業績 (平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	6,601	—	568	—	568	—	336	—
24年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 平成24年12月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成24年9月期第3四半期の数値及び平成25年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年12月期第3四半期	円 銭 69.98	円 銭 —
24年12月期第3四半期	—	—

(注) 1 当社は、平成25年7月1日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権は存在するものの、当社株式は平成25年12月期第3四半期においては非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年12月期第3四半期	百万円 4,257	百万円 2,187	% 51.4
24年12月期第3四半期	2,787	1,080	38.8

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 2,187百万円 24年12月期 1,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想 (平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,205	141.9	923	139.4	919	138.8	556	152.7	111.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期3Q	5,100,000株	24年12月期	4,000,000株
25年12月期3Q	一株	24年12月期	一株
25年12月期3Q	4,805,275株	24年12月期3Q	4,000,000株

- ・当社は、平成25年7月1日付にて普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 当社は第3四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、前年同期間との対比は行っていません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) セグメント情報等 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権下における円安定着や景気対策による業績上振れ期待が膨らんでいること、東京オリンピックの開催決定などから、全体として景気回復に向けた動きが見受けられるようになりましたが、一方で消費税増税の決定や原材料価格の上昇、新興国経済減速への懸念も表れてきており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主要市場である戸建分野における断熱材市場におきましては、新設住宅着工戸数、および新設住宅着工床面積ともに12ヵ月連続の増加となり、消費マインドの改善もみられることから堅調に推移しております。

このような状況のもと、当社は住宅着工戸数の増加に伴って増加する断熱材の需要に対して、安定供給できる体制づくりを推進するため、引き続き積極的な営業エリアの拡大を行い、施工能力拡大のための施工人員の増強を行うことに注力してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,601百万円となりました。営業利益につきましては、戸建分野の堅調な増収による売上総利益の増加や、原料仕入先の変更等による仕入単価の低減などの影響もあり、568百万円となりました。経常利益につきましては568百万円となり、四半期純利益につきましては336百万円となりました。

なお、当社は第3四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、前年同期間との対比は行っておりません。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は3,739百万円となり、前事業年度末に比べ1,296百万円の増加となりました。この増加の主な要因は、第三者割当増資等による現金及び預金が905百万円、受取手形及び売掛金が369百万円、機械購入のための前渡金が38百万円増加いたしました。たな卸資産が75百万円減少したことなどによるものであります。

#### (固定資産)

固定資産は518百万円となり、前事業年度末に比べ174百万円の増加となりました。この増加の主な要因は、施工業務に係る機械装置、車両運搬具等の取得に加え、研修センターと倉庫に予定している土地建物を取得したことにより有形固定資産が149百万円の増加したこと、および社内システム構築による無形固定資産が4百万円増加したこと、ならびに営業所開設における差入保証金等の投資その他資産が20百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における総資産は4,257百万円となり、前事業年度末に比べ1,470百万円の増加となりました。

#### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は2,010百万円となり、前事業年度末に比べ321百万円の増加となりました。これは主に、買掛金の増加205百万円、未払費用の増加22百万円、セール・アンド・リースバック取引の発生によるリース債務84百万円の増加によるものであります。

#### (固定負債)

固定負債は60百万円となり、前事業年度末に比べ42百万円の増加となりました。この減少の主な要因

は、セール・アンド・リースバック取引の発生によるリース債務が43百万円の増加となったことによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における負債合計は2,070百万円となり、前事業年度に比べ364百万円の増加となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は2,187百万円となり、前事業年度末に比べ1,106百万円の増加となりました。この増加の主な要因は、第三者割当増資による資本金及び資本準備金の増加が770百万円、四半期純利益の計上により、利益剰余金が336百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は51.4%（前事業年度末は38.8%）となりました。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期におきましては、住宅着工戸数の増加に比例して増加する断熱材の需要に対応するため、営業拠点の拡大及び施工体制の強化を積極的に行いました。

これにより、売上高9,205百万円、営業利益923百万円、経常利益919百万円、当期純利益556百万円を見込んでおります。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これにより第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期会計期間 (平成25年9月30日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	1,381,197
受取手形及び売掛金	1,691,275
たな卸資産	101,243
未収入金	466,246
その他	104,884
貸倒引当金	△5,521
流動資産合計	3,739,326
固定資産	
有形固定資産	461,661
無形固定資産	5,419
投資その他の資産	
投資その他の資産	53,406
貸倒引当金	△1,972
投資その他の資産合計	51,433
固定資産合計	518,514
資産合計	4,257,840
<b>負債の部</b>	
流動負債	
買掛金	1,543,174
リース債務	91,335
未払法人税等	113,360
賞与引当金	64,117
その他	198,535
流動負債合計	2,010,522
固定負債	
リース債務	60,208
その他	51
固定負債合計	60,259
負債合計	2,070,781
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	405,000
資本剰余金	385,000
利益剰余金	1,397,046
株主資本合計	2,187,046
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	12
評価・換算差額等合計	12
純資産合計	2,187,059
負債純資産合計	4,257,840



(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,601,100
売上原価	4,979,156
売上総利益	1,621,943
販売費及び一般管理費	1,052,962
営業利益	568,981
営業外収益	
受取利息及び配当金	108
受取保険金	5,201
その他	2,318
営業外収益合計	7,628
営業外費用	
支払利息	1,645
売上割引	4,184
株式交付費	2,450
その他	28
営業外費用合計	8,309
経常利益	568,300
特別損失	
固定資産売却損	28
関係会社株式評価損	2,729
その他	630
特別損失合計	3,388
税引前四半期純利益	564,911
法人税、住民税及び事業税	251,037
法人税等調整額	△22,393
法人税等合計	228,644
四半期純利益	336,267

(3) セグメント情報等

当社の事業は、熱絶縁工事業及び付帯業務の単一事業であり、開示対象となるセグメントがないため、記載を省略しております。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間（平成25年1月1日～平成25年9月30日）

当社は2月15日臨時株主総会で決議に基づき、本年3月14日より3月27日にかけて第三者割当増資を行いましたことにより、資本金が385百万円、資本準備金が385百万円増加しました。これにより当第3四半期累計期間の資本金は405百万円、資本準備金は385百万円となっております。